

## 修了評価の方法

評価基準作成者：大野 典子

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none"><li>1 出題範囲<ul style="list-style-type: none"><li>・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li></ul></li><li>2 出題形式<ul style="list-style-type: none"><li>・四肢択一形式とする。</li></ul></li><li>3 出題数<ul style="list-style-type: none"><li>・四肢択一問題 15 問 全問正解：15 点満点</li></ul></li><li>4 合否判定基準<ul style="list-style-type: none"><li>・9 点以上（6割以上）</li></ul></li><li>5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none"><li>・不合格者には、補習のうえ再評価を行う。</li></ul>なお、再評価に係る合格基準は6割以上とし、補習料・再評価料は無料とする。 再評価は、最大3回のみとし、最終試験の結果、不合格となった者は、未修了扱いとなるため注意すること。</li></ol>
------------	--